



カーエレクトロニクス研究会 2024年度第2回公開研究会

主催:カーエレクトロニクス研究会

◆公開研究会のご案内

研究会テーマ「サーキュラーエコノミー・脱炭素と車載実装技術」

サーキュラーエコノミー・脱炭素に向けた取り組みと車載実装技術に関する公開研究会を開催します。サーキュラーエコノミー・脱炭素への取り組みの全体像を俯瞰すると共に、クルマ作りにおける素材開発や車載プラスチックの動向とプリント配線板の事例での実装技術の取り組みについて取り上げる内容となっています。是非御聴講ください。

開催日時 2025年2月10日(月) 13:00~17:20

開催方式 現地開催 & WEBハイブリッド(Zoom Webinarシステム利用)

開催場所: 回路会館地下1F会議室

※参加URL等の聴講情報は、申込受付時のメールにてご連絡致します。

13:00~13:05

オープニング

開会挨拶 カーエレクトロニクス研究会 主査 三宅 敏広

13:05~13:50

「サーキュラーエコノミー実現に向けた産官学連携活動と分離研究の事例紹介」

早稲田大学 理工学術院創造理工学部学部長・研究科長

教授 所 千晴 様

<概要>

サーキュラーエコノミー実現には、製造から処理、技術からシステムに至る、産官学の総合知を有効に連携させることが重要である。その事例紹介として、講演者らが主宰している循環バリューチェーンコンソーシアムの活動紹介と、それらの情報交換からアイデアを得て立ち上がった易解体設計や分離技術開発に関するプロジェクト例を紹介する。

13:55~14:40

「サーキュラーエコノミー前提のクルマ作りと電装部品への対応ニーズ」

株式会社本田技術研究所 材料研究センター(HGMC) リジェネラティブ材料研究室

チーフエンジニア 平脇 聡志 様

<概要>

Hondaは2050年サステナブルマテリアル100%を経営目標に掲げている。実現に向けた車両コンセプトとリサイクル材料開発について具体的な取り組み事例を交えて全体像の紹介をおこなう。また、電装部品については特に回収後の素材分別が困難であることから、自動車会社としての認識課題・ニーズを説明し相互理解を深める場としたい。

休憩(14:40~14:55)

14:55～15:40

「サーキュラーマニュファクチャリング」

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 製造技術研究部門 副研究部門長 土屋 哲男 様

<概要>

資源の枯渇や環境負荷の低減といった課題を解決するためには、大量生産・大量廃棄ではなく、循環型のものづくりの構築が必要不可欠である。産総研では、これらの課題に対応するため、リマニュファクチャリングコンソーシアムを設立した。本講演では、リマニュファクチャリングコンソーシアムの活動や、エレクトロニクス、エネルギー、通信、インフラを支える多様な材料・部材の循環型ものづくりの構築に向けた取り組みについて講演する。

15:45～16:30

「【独自調査】中韓越台泰仏 日本に伝わらない自動車ビジネスの現状」

株式会社Tech-T 代表 高原 忠良 様

<概要>

日本の自動車産業従事者550万人の崩壊が始まっている。世界の技術や市場は日本のはるか先にある。日本国内に伝わらない技術・材料・市場動向の独自調査から生き残りの秘訣を伝授する。仏独伊で年間1万台以上も売れている2人乗りの電気自動車は外板がすべて樹脂製、TESLAサイバートラックの外板は宇宙工学視点のステンレス鋼板、台湾・ベトナムでは自国製EVが席捲し始めた。危機感マックスの日本車を鑑みた電子デバイスの将来像も探る。

16:35～17:20

「プリント配線板製造におけるダイレクトプレーティング技術」

マクダーミッド・パフォーマンス・ソリューションズ・ジャパン株式会社
サーキットリー・ソリューションズ事業部

飯森 陽介 様

<概要>

弊社のダイレクトプレーティングは、主に炭素をベースとした技術で、これは、既存の無電解銅めっきの代替技術です。本講演では、ダイレクトプレーティングの中から、ブラックホールプロセスについてご紹介致します。

※プログラムは変更になることがありますので、ご了承ください。

参加要項

定員 現地50名、オンライン100名 (先着申込順 定員になり次第締め切ります)

参加費(消費税込み)

正会員:5,000円、学生会員:1,000円、研究会会員:別払い、シニア会員:2,000円

名誉会員:無料、賛助会員の社員:5,000円、賛助会員(クーポン利用):無料

非会員一般:12,000円、非会員学生:2,000円、協賛団体(JPCA会員):5,000円

下記から参加申し込みをお願いします。

会員

賛助会員

協賛会員

非会員

※クーポン使用の場合は「クーポン利用」をご選択ください。

注意事項(参加方法)

- ①申込が受理されますと、**返信メールで公開研究会への参加 URLやお支払いに関する情報**をご連絡致します。
- ②ご申請の手順に従って、参加費のお支払いをお願い致します。
(お支払い方法:銀行振込・クレジットカード決済)
- ③請求書や振込確認後の領収書のご発行は、返信メールのマイページから出力が可能です。
- ④WEBの請求書が原紙扱いになりますので、ご了承ください。
- ⑤賛助・特別クーポンは、1枚/1口まで利用可能です。申込時にクーポン番号等の全項目を記入しないと、利用できません。

* キャンセルポリシー

お申込み後のキャンセルはできません。

問い合わせ先 一般社団法人エレクトロニクス実装学会

E-mail: info@jiep.or.jp

(メールアドレスは¥を@に置き換えてください)